

海浜の自然環境を守る会ニュース

第60号 2019年9月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

★令和元年「海の日」国土交通省海事功労者等表彰★

「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」

7月16日、ホテルオークラ神戸にて上記表彰式があり NPO 法人海浜の自然環境を守る会が国土交通大臣表彰を受けました。

長年にわたり甲子園浜の清掃活動を実践してきたことが認められました。毎回清掃時に100名以上の参加があり、特に昨年台風後には260名の方が駆けつけてくださいました。今回の受賞はひとえにこのような地域の皆様、学生、企業の方たちのおかげです。

また毎回欠かさずゴミの収集に協力してくださって

いますヤマサ環境エンジニアリングさまが、同様に「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動」により近畿地方整備局長表彰を受けられました。二重の喜びとなりました。

未来の子供たちに自然の海をと、長い戦いのすえに残された甲子園浜。これからも大切に守りつづけていきます。



甲子園浜再生干潟生き物体験会

6月16日午前11時より、再生干潟生き物体験会を開催しました。平成30年末に土砂の投入が終了した干潟に入り、どんな生き物がいるかを調べました。

西宮市みどり保全課、甲子園地区埋立事業対策協議会、西宮自然保護協会、NPO 法人こども環境活動支援協会、甲子園浜安全協会との共催です。

見つけられたのはニホンスナモグリ、ヨコエビ類、ゴカイ類でした。

再生干潟に投入されたのがほとんど単一の砂泥のためと思われます。さまざまな野鳥が飛来する干潟にするには、アサリなどの貝類やカニが育つような環境が必



要です。どうすればいいかを考える良い機会になりました。32名の参加でした。

夜の甲子園浜観察会

猛暑に耐えかね、8月10日夜の甲子園浜観察会をしました。

日没ごろから、兵庫県生物学会の石川先生指導で幅4m高さ1mのサーフネットを引くと、キスやヒイラギの稚魚がたくさん入っています。ヒメハゼやタイ科の稚魚もいました。ネットをあげるたびに子どもたちがわっと取り囲んで触ったり写真を撮ったり。

砂浜ではハマベハサミムシ、トビムシを見つけました。スナガニの大きな穴を見つけたので掘ってみましたが、大勢の人間が居るので出てきません。波が高かったので岩場でのカニ探しもできませんでした。

夜光虫も見られなかったのですが、石川先生が前日に明石海岸で採取してきたウミホタルを見せてくださって、青い光に歓声が上りました。33名の参加でした。

いいもの見つけ



トゲノコギリガザミ

7月15日浜の清掃をしていると、甲子園浜自然環境センター前あたりにキビレチヌ、コチ、イサキの幼魚、タイワンガザミ、ケフサイソガニ、テッポウエビの死骸がたくさん打ちあがっていた。その中に目を引く大きなカニがいた。右のハサミは欠落している。さらに海の中も探すと、海底に2匹目が横たわっている。足も揃い、重量感もある立派な姿形の個体だ、やった！



このころ甲子園浜では赤潮が続いていた、それで多くの生き物が死んだのだろうか。

貝類館の渡部学芸員に写真を送ると、「どこ、どこ、どこですか！超貴重なトゲノコギリガザミです。僕が甲子園浜で探し求めていたものです。すごすぎ。一昨年これのハサミを拾って以来、ずっと居ることを確信して探していました。素晴らしい！」との返事をいただいた。



計測してみると甲羅の幅13.5cm、高さ9.5cm、重さ473グラムもあった。名前の由来となるノコギリの歯状の鋭い突起が目と目の間に6歯、目から甲羅の両側縁には各9歯付いている。いかついハサミ脚は左右で少し大きさが違う。調べてみると餌の貝類を捕食するとき、鋭い歯が並んでいる小さい方のハサミでがっちり掴み、臼を思わせる大きな歯が並んでいる大きなハサミで殻を砕き中身を食すという。挟む力は1トンを超えとも書かれていたから驚く。また最も後ろの歩脚はガザミやイシガニと同様に平たい遊泳脚があるのも特徴。

翌16日の夕方、少し小ぶりだがトゲノコギリガザミの脱皮した殻を拾った。間違いなく甲子園浜の砂泥地帯で巣穴を作り生息していると確信した。生きているトゲノコギリガザミに出会えるのも近い気がする。

このトゲノコギリガザミは渡部学芸員によって標本にされ、5月に採集したムラサキガイとともに10月22日まで西宮市貝類館でミニ展示されています。ぜひご覧ください。

向山 裕子

活動報告

- 6月16日 再生干潟生き物体験会 32名
- 7月6日 西宮市立東高校文化祭出展
- 7月14日 ブルーサンタになって海浜清掃 105名
可燃ゴミ180kg、不燃ゴミ10kg
(ヤマサ環境エンジニアリング調べ)

7月14、15日赤潮か、魚など大量に打ち上がる。

7月16日「海の日」国土交通省海事功労者等表彰



- 7月20日 南甲子園小学校・青愛協 生き物学習会
- 7月25日 ひょうご環境創造協会 海ごみ学習
- 8月10日 夜の甲子園浜観察会 33名

活動予定

- 9月15日(日) 海浜清掃
- 9月23日(月) 大阪湾生き物一斉調査結果発表会
大阪市立自然史博物館
- 9月28日(土) 藤原建紀先生講演会
「甲子園浜でなぜ頻繁に青潮が起きるのか
—大阪湾と甲子園浜、都会の海の自然—」
- 11月9日(土) ひょうご森まつり出展 甲山森林公園

NPO ニュースに掲載する甲子園浜の写真募集
住所、氏名(掲載は匿名可)、コメントを添えてデータで下記までお送りください。撮影時期、発表未発表を問いません。掲載時に容量を縮小することがあります。ご了承下さい。

setter*cvn.bai.ne.jp (*を@に変える) 岸川